

しがぎんの
強みを生かして

持続可能なグリーン社会へ

当行は、1990年代から「お金の流れで地球環境を守る」との気概で環境経営に取り組んでまいりました。SDGsにつながる意識でさまざまな活動を展開しています。

環境ボランティア活動

琵琶湖の生物多様性・環境を守る
“いきものがたり”活動

魚の産卵場所であるヨシ群落を守り・育て、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のカササギ・ワタカを保護・育成・放流し、侵略外来魚を駆除するなど、滋賀県ならではのストーリー性のある“いきものがたり”活動を展開しています。この活動は、環境リテラシーの高い人材の育成にもつながっています。



ヨシ苗植えボランティア



ヨシ刈りボランティア



森づくりサポート活動



外来魚駆除・釣りボランティア



カササギ・ワタカ放流式

サステナブル! しがぎんSDGs宣言

CSR憲章(経営理念)に掲げる「共存共栄」の精神のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を私たちの企業行動につなげ、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めることを宣言しています。

重点項目(ターゲット2030)

- 地域経済の創造
- 地球環境の持続性
- 多様な人材の育成

(2017年11月発表)

サステナブル! ISO14001×SDGs

2000年よりISO14001の認証を取得し、当行独自の環境マネジメントシステムを運用しています。サステナビリティビジョン(長期ビジョン)の実現に向けたPDCAを回し、“しがぎん”グループで働くすべての人が環境について考え行動することを目指しています。

サステナブル! サステナビリティ方針

行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」を原点とするCSR憲章(経営理念)の実践を通じて企業価値の向上を目指すとともに、地域との共創により持続可能な社会の実現に貢献するため、サステナビリティ方針に基づく取り組みを進めています。

1. マテリアリティ(重要課題)の特定と事業活動を通じた地域の課題解決
2. 事業活動による社会的インパクトを重視した経営
3. 地球環境の保全・再生に資するビジネスモデルの確立
4. 人権の尊重と社会との信頼関係の構築
5. 自ら考え行動できる人材の育成と職場環境の整備

(2020年10月制定)

サステナブル! 環境方針

滋賀銀行は、「未来からの預かりもの」である琵琶湖を擁する滋賀県の地元銀行として、ESG金融の推進により持続可能な地域社会づくりに貢献するとともに、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、「気候危機への対応」および「生物多様性保全」に向けた取り組みを進めていきます。

1. 事業活動を通じた地球環境保全
2. 環境負荷低減への取り組み
3. 環境関連法規等の遵守
4. ガバナンス・マネジメント体制
5. 全員参加と情報開示

(1999年10月制定・2020年10月改定)

サステナブル! 生物多様性保全方針

滋賀銀行は、多彩ないのちを育む世界有数の古代湖・琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として、経営に環境を取り込んだ「環境経営」を実践し、地域の皆さまとともに「地球の恵み」である生物多様性の保全、さらには持続可能な社会の実現に努めてまいります。

1. 役職員自らが生物多様性保全の活動を展開
2. 地域の皆さまとの連携によるネットワークづくり
3. 環境対応型金融商品・サービスの充実

(2010年8月制定)



JQA-EMO777

サステナビリティ
ビジョン



“サステナブル”な 地域社会を目指して！！

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」 3年連続で受賞



2022年2月、環境省が主催する「第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において、「銅賞」を受賞しました。本アワードは、ESG金融の普及・拡大に積極的に取り組み、環境・社会にインパクトを与えた企業等の取り組みを表彰するもので、当行は第1回の融資部門「銀賞(環境大臣賞)」、第2回の間接金融部門(地域部門)「金賞(環境大臣賞)」に続く3年連続の受賞となりました。

「サステナビリティ・リンク・ローンにより取引先を啓発し、自治体や地域金融機関との連携によるインパクト創出を重視している点や、ESG地域金融の実践を通じて蓄積した知見を生かし、インパクト評価の定量化に向けた調査・研究に取り組んでいる」点を評価いただきました。

地域福祉の向上を願って しがぎん福祉基金



助成累計**511件**
3億**9,099**万円
(2022年4月末実績)

「当行を支えていただいている地域の皆さまに何とかお礼がしたい」との思いから、当行創立50周年(1984年)に『社会福祉法人 しがぎん福祉基金』を設立。滋賀県内で展開される福祉の実験的・開拓的な取り組みに対して、幅広く助成を行っています。

地域のフードを全国へ 地方銀行フードセレクション

全国へ販路拡大を希望する食品関連事業者と地域色豊かな商材を求めるバイヤーをつなぐ商談会を全国の地方銀行と共同で開催しています。



世界の子どもの健康と笑顔を守る 「ユニセフ外国コイン」募金活動



毎年7月～9月にかけて「『ユニセフ外国コイン』募金活動」を全店で実施しています。皆さまにご協力いただいたコインは、公益財団法人滋賀県国際協会を通じて公益財団法人日本ユニセフ協会に寄贈し、衛生活動や教育活動に役立てられています。

地域の小学校と共同 小学生向けバスケットボール教室



滋賀銀行女子バスケットボール部「Lake Venus (レイクビーナス)」は、地域の小学校で行われる特別授業にゲストティーチャーとして協力し、バスケットボール教室を開催しています。この特別授業は、子どもたちがさまざまな体験や活動から趣味・関心を広げ、自ら学んでいこうとする姿勢を養うことなどを目的としています。

より魅力ある地域に 地域文化の創造・育成



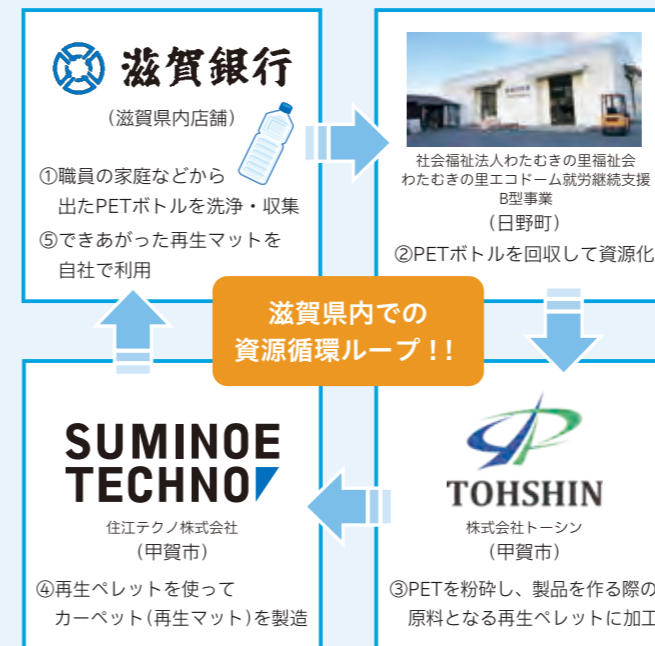
グループ会社である株式会社しがぎん経済文化センターと連携し、地域経済の活性化と文化の振興を目的として、さまざまな情報発信や文化事業を行っています。

未来を担う地域の子どものために 青少年育成をサポート



当行創立60周年(1993年)から、青少年の健全な育成と地域共感を目的として、小学生対象の滋賀県内最大のサッカー大会「しがぎんカップ(SFA U-12サッカー選手権大会)」を開催しています。

地域循環型社会を実現 「PETボトル再生マット」プロジェクト



2022年8月に、職員の家庭や職場で発生したPETボトルを回収し、カーペットとして再生するプロジェクトを実施しました。資源の使い捨てを減らし、「循環させる」社会にすることでゴミの発生を減らし、社会的課題解決につなげようという考えが広がっています。資源循環につながる取り組みを、身近なことから実践することで自ら意識を高め、地域に広げるきっかけにすることを目指しています。



地域経済の創造

地域の課題を解決する新たなビジネスモデルを創出し、地域の魅力を育み、人と街が成長する豊かな地域経済を創造します。

サステナブルファイナンス

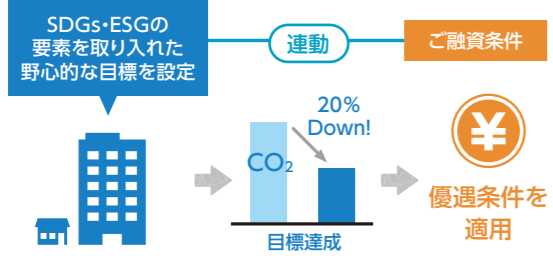
『しがぎん』サステナブル評価融資

SDGsやESG、企業価値向上の観点から有意義な取り組みを幅広く評価し、サステナブルな経営につなげていただくための融資商品を取り扱っています。



国際的な原則・ガイドラインに適合した商品ラインナップ

『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン



お客さまがあらかじめ設定されたSDGsやESGに関連する“野心的な”挑戦目標を達成された場合に金利等の融資条件を優遇。お客さまのサステナビリティ経営をサポートし、企業価値向上と持続可能な社会の実現を同時に目指します。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、特定されたポジティブインパクトの拡大と、ネガティブインパクトの低減に向けた取り組みをサポートする融資商品です。SDGsへの貢献度合いなど、事業活動におけるポジティブな意図やコミットメントを可視化することで企業価値・競争力を向上させるとともに、環境や社会のサステナビリティにつなげます。

『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン “しがCO2ネットゼロ”プラン



脱炭素に向けた取り組みを地域に広げ、滋賀県のCO2排出実質ゼロの実現と、ご利用企業さまの企業価値向上を同時に目指す融資商品です。“野心的な”CO2削減目標を滋賀県と当行に提出いただき、達成時には優遇条件を適用します。

グリーンローン／ボンド ソーシャルローン／ボンド

グリーンローン／ボンドは、資金用途を国内外のグリーンプロジェクトに限定する投融資。また、ソーシャルローン／ボンドは、国内外のソーシャルプロジェクトに資金用途を限定する投融資です。いずれも環境や社会のサステナビリティにつなげることを目的に利用されます。

SDGsを活用した持続可能な経営を支援

SDGsコンサルティング



「SDGsを経営に取り入れるサポートをしてほしい」というご要望にお応えするため、コンサルティングメニューの一つとして積極的に実施しています。お取引先とともに環境・社会との好循環を生み出し、持続可能な地域経済を目指します。

産学官金の連携でニュービジネスのヒントを提供

サタデー起業塾



地域からニュービジネスを生み出し、成長を支援することは地域金融機関の大切な役割です。起業を目指す個人やベンチャー企業、さらには第二創業をお考えの企業の皆さまにビジネスヒントを提供することを目的に2000年より開催しています。

計画的なバトンタッチに向けて

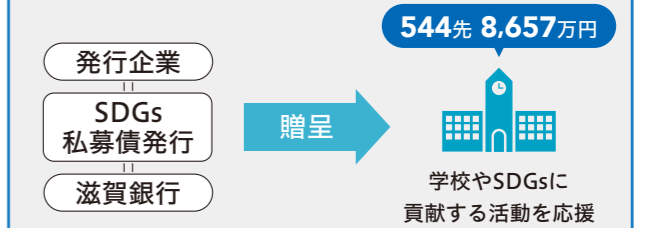
事業承継支援

経営者の集大成とも言える経営のバトンタッチを円滑に行っていただけるよう、事業承継計画の策定や後継者との対話をサポートしています。また後継者の確保が課題となる場合には、M&Aによる第三者への承継や経営人材のご紹介などもお手伝いしています。

SDGsの普及拡大と社会的課題解決に幅広く貢献

SDGs私募債「つながり」

SDGs私募債のしくみ



(2022年7月末実績)

発行企業にはSDGs賛同書を提出していただくことでSDGsを普及・啓発するとともに、当行が発行総額の0.2%相当額を拠出し、学校やSDGsに貢献する活動に対して物品や活動資金を寄贈しています。

地域ブランドの魅力向上をサポート

クラウドファンディング



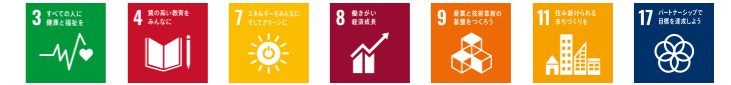
ミライキックス株式会社様
「パン・焼菓子の製造販売を通じ障がい者就労を支援」

取り組みに賛同した人々から資金を調達するクラウドファンディングの手法を活用し、地域ブランドの魅力向上や地域資源を活用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者をサポートしています。

地域・お取引先をデジタル化

ITビジネスサポート

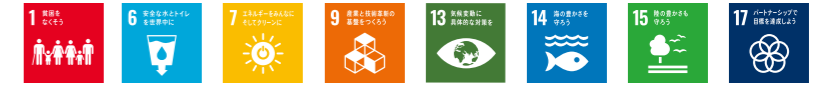
地域やお取引先の課題解決に貢献し、持続可能な地域社会の実現をデジタルの視点から支援しています。行内のデジタル化で得られたノウハウなどを積極的に地域に還元するとともに、さまざまな外部企業と連携しながら、地域社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。





地球環境の持続性

金融の役割を通じて「経済・環境・社会の好循環」を確立し、自然と共生する循環型社会を創造します。



責任銀行原則(PRB)に署名



2020年2月、日本の地方銀行で初めて「責任銀行原則(PRB)」に署名し、世界の270を超える署名銀行とともに、サステナビリティをビジネスの中心に据えた金融の実践に取り組んでいます。責任銀行原則のフレームワークを活用することで、社会の変革に向けた資金の自律的好循環を生みだし、地域の皆さまとともに地域社会の持続可能な未来を創造してまいります。

ESG評価制度



お取引先のESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組みを、当行独自の評価基準により評価するESG評価制度を2021年11月より導入しています。お取引先とESG(非財務項目)を起点とした対話を通じてESG経営を促進し、財務項目だけでは捉えきれない経営課題の共有とソリューションの提供につなげています。

燃料電池自動車「MIRAI」を導入



燃料電池自動車(FCV)は、水素と酸素の化学反応によって電気をつくり、きれいな空気と水だけを排出して走行する「究極のエコカー」とも呼ばれています。当行ではこれを役員移動車として導入し、地域の脱炭素化を推進するとともに、水素エネルギーの活用促進につなげることを目指しています。

資源循環型社会へ～環境負荷の少ない素材を活用～



当行の通帳ケースはバイオマスプラスチックを配合しており、石油由来の資源を削減しています。また、お客さまにお渡しするクリアファイルを紙製のファイルに切り替え、プラスチックごみ問題に対応するなど、資源循環型の持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

エコオフィスづくり

しがぎん エコスタイル	グリーン購入	温室効果ガス 排出量
室温管理の徹底など	紙類 文具類	42.08%削減
		2021年度実績 (2013年度対比)

「滋賀銀行環境方針」のもと、営業活動に伴う電力や紙使用量の削減、グリーン購入・リサイクル・エコスタイル・エコ店舗など、省エネ・省資源活動に努めています。

カーボンニュートラル店舗

脱炭素社会への対応に向けて

太陽光発電	営業車 CO ₂ 排出
照明電力	屋外電気使用
空調換気電力	コンセント 電気使用

カーボンニュートラルローン未来よし

「カーボンニュートラルローン未来よし」は、脱炭素につながる設備投資に幅広くご利用いただける融資商品で、当行独自の「ESG評価制度」の評価結果に応じた金利優遇を行います。また、融資の利用実績に応じて、炭素削減価値を参考に当行が本商品の収益の一部を拠出し「未来よし+」の寄付スキームを通じて森林保全や生物多様性の保全に資する事業を支援しています。



『カーボンニュートラルローン未来よし』などの融資商品

脱炭素設備資金：省エネ設備
再エネ設備 EV車等



ご融資のお取引

商品による収益の一部を当行が拠出
脱炭素、生物多様性に寄与する事業に寄付

滋賀銀行

『未来よし+』による寄付・購入

寄付



ニゴロブナ・ワタカ放流事業等

生物多様性
脱炭素・森林保全

購入



クレジット
びわ湖・カーボンクレジット等
●滋賀県造林公社さま
●金勝生産森林組合さま

「イナズマロックフェス2022」のカーボンオフセット開催に協力



三日月大造滋賀県知事(左)、西川貴教さん(中央)と発表を行いました。

9月17日・18日に草津市で開催された「イナズマロックフェス2022」について、当行の寄付スキーム「未来よし+」を通じて取得した「びわ湖カーボンクレジット」30t-CO₂を寄贈し、カーボンオフセット開催に協力しました。これにより、会場での電力消費やシャトルバスの運行により発生するCO₂を相殺しました。これからも地域振興と環境保全を両立させ、持続可能な地域社会の実現に取り組めます。



多様な人材の育成

多様な個性を尊重し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。また、SDGs・金融リテラシー教育などを通じて、地域の未来を担う人材の育成に努めています。



SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動

持続可能な社会を共創する人材を育てる



学校やお取引先等に行員が出向き、SDGsや金融リテラシーの普及・向上を目的とした講義や講演を実施。行内でも研修を実施しており、地域や世界の課題解決に資する人材の育成に注力しています。

pick up! SDGs・ESG金融検定で
団体優秀賞



受験者数
790人

合格率
83.5%

グループ役員に対して、SDGsやESGに関する自己啓発を推進し、コンサルティング能力の向上につなげることを目指しています。2021年度は「SDGs・ESG金融検定」（主催：金融検定協会）において、平均点、合格率、受験者総数のいずれにおいても優れた成績を収め、団体優秀賞（総合1位）の表彰をいただきました。

pick up! 市民向け講座で
金融リテラシー教育



高島市が主催する市民向け講座において、当行の職員が講師を務め、金融リテラシー講座を実施しました。総勢80名がご家族で参加され、大人だけでなく、次の世代を担う子どもたちにも、お金の大切さや資産形成の必要性を知ってもらう機会となりました。このような機会を積極的に提供し、金融リテラシーの向上に努めてまいります。

課題解決型人材

お客さま・地域社会の未来を切り拓く「課題解決型人材」の育成

お客さまのゴール(将来のビジョンや夢など)に到達するための最善の方法を、お客さまの立場で考え、本質的な課題を見つけ出し、提案・解決できる力をもつ「課題解決型人材」の育成を進めています。

専門資格の取得者状況 (2022年3月末現在)

FP1級	228名	宅地建物取引士	175名
証券アナリスト	22名	中小企業診断士	43名

多様な学びの場

- ・ゆとりプランセミナー
- ・e-JINZAIの活用
- ・専門資格取得サポート
- ・外部専門機関への派遣

キャリア形成・スキル向上

- ・行内人材公募制度
- ・デジタル教育
- ・コンサルティング研修
- ・新入行員研修
- ・階層別研修
- ・職務別研修

ワーク・ライフ・バランス & 働き方改革

だれもが自分らしく働くために

女性管理職比率

16.57%
(支店長代理以上)

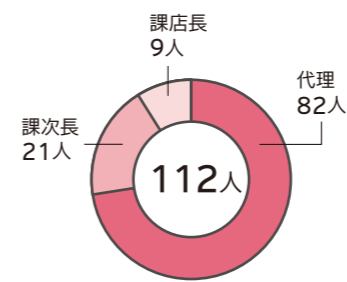


2016年4月
近畿の地方銀行で
初めて取得

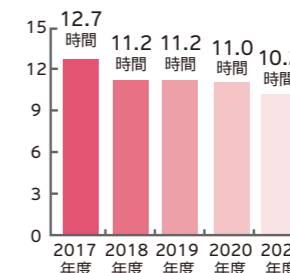


2020年1月
「えるぼし」
(二つ星)認定

女性管理職の内訳



1人あたりの
月間時間外労働時間



- ・セレクト時差勤務制度
- ・配偶者出産特別休暇制度
- ・育休復帰後セミナー
- ・提携保育所の設置
- ・1年間の介護休業制度
- ・副業制度(個人事業主型)

ダイバーシティ推進委員会・ダイバーシティ推進チーム



多様な個性を尊重し、一人ひとりが持てる力を発揮することで生きがい・働きがいを感じられる職場環境を整備するために、「ダイバーシティ推進委員会」を設置しています。また、委員会活動を進めるうえで、職員の多様な意見を反映するため、営業店から公募で集まったメンバーによる「ダイバーシティ推進チーム」を立ち上げ、積極的に意見を出し合っています。2021年度のチーム活動では、本部業務の可視化や役職員のモデルケースの開示など、多様なバックグラウンドを持つ役職員のキャリアや価値観の違いを知り、自律的なキャリア形成や職員間の相互理解を深めるためのサポートツール「キャリアシート」*の導入において、重要な役割を果たしました。

*さまざまな職員の職歴や価値観、経験をまとめたもの

倫理観の高い行員の育成

コンプライアンス体制・人権教育

「滋賀銀行の行動規範」を遂行し、法令等遵守を徹底するなど、専務取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」が中心となり、「コンプライアンス・プログラム」に取り組んでいます。

また、人権問題の理解と認識を深め、人権感覚を磨き、明るい職場を築くため、定期的な人権研修を実施しています。

メンタルヘルスケア

心身ともに健康な職場づくり

役職員が心身ともに健康な社会生活が送れるよう、職場のメンタルヘルスケアに取り組んでいます。

管理職を対象に、「メンタルヘルス」をテーマとした研修を実施しているほか、行内に設置している健康管理室の看護師が職員をフォロー。必要に応じて外部の専門家とも連携を図っています。